

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-02-01-03	
事務事業名	マザーズスクール事業			
事業開始年度	昭和52年～			
総合計画	大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	問担当課(室)	保健課
	中項目 基本施策	健やかで生き生きしたまちづくり	職・氏名	健康係長・白麗由美子
	小項目 施策	母子保健(歯科保健を含む)	電話	0869-64-1820
	根拠法令・要綱等			

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	主に言語及び情緒の発達に気になる幼児とその保護者
目的(何のために)	保護者が子どもの成長発達を受け入れ、子育ての方向性を見出せるよう支援する
行政活動(どのような方法で)	集団遊戯訓練、個別訓練、個別相談等
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	保護者が子どもの成長発達を受け入れ、子育ての方向性を見出せることができる。保護者が、不安や悩みを軽減することができる。

事業の実績						
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	実施回数	回	168	135	135	
	参加延人数	人	1,215	1,052	1,113	
	参加実人数	人	40	46	49	
	交流会実施回数	回	0	12	12	
	交流会参加人数	人	0	44(うち卒園者34)	31(うち卒園者10)	
	事業費	直接事業費	千円	2,344	4,605	4,557
		人件費	千円	3,917	2,415	2,362
		事業費計	千円	6,261	7,020	6,919
		国県支出金	千円	1,929	1,394	1,394
財源	受益者負担	千円				
	一般財源	千円	4,332	5,626	5,525	
	必要人員	人	0.62	0.40	0.39	
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	実施回数	説明				
	結果指標量	人	168	135	135	
	対前年比	%	-	80.4%	100.0%	
	活動コスト	円	6,261,000	7,020,000	6,919,000	
	単位当たりコスト	円	32,267	52,000	51,251	
	参加延人数	説明				
	結果指標量	人	1,215	1,052	1,113	
	対前年比	%	-	86.6%	105.8%	
	活動コスト	円	6,261,000	7,020,000	6,919,000	
単位当たりコスト	円	5,153	6,673	6,216		

事業の成果			
成果指標名	参加者の不安や悩みが軽減された者の割合	式又は説明	参加者アンケート結果
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	89.00	70.00	88.00
対前年比		78.65%	125.71%
到達目標値	90.00	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	B
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	乳幼児健診や母子相談事業などで、言語面・情緒面・行動面が気になる幼児とその保護者に対する、要フォロー教室であり、他の母子保健事業とのつながりが強く、なくてはならない事業である。少子化や核家族化などで子育てに不安を感じている保護者が増加しており、本事業のニーズは高いと考えられる。また、平成18年度から参加者アンケートがきっかけとなり、保護者同士がゆっくりと相談することができるよう、卒園者を含めた交流会を開催するなど、内容を充実させている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	効率性評価<A-E>	課題認識
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
行政活動	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	有効性評価<A-E>	C
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	平成17年度まで、同じ目的の教室が2箇所で行われていたが、平成18年度から1本化しコスト削減に努めている。
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善している	有効性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
職	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	課題認識	本事業目的から考えると、有効性の評価については、参加者数が多ければいいというものでもないため、参加者の満足度によるものが大きい。年度末には、参加者に事業に対するアンケートを実施しているが、全員から回答を得ることができず、正確性に欠けている。今後は、アンケート調査方法を工夫し、全数把握できるよう努める必要がある。
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上の見込みである		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	本事業目的から考えると、有効性の評価については、参加者数が多ければいいというものでもないため、参加者の満足度によるものが大きい。年度末には、参加者に事業に対するアンケートを実施しているが、全員から回答を得ることができず、正確性に欠けている。今後は、アンケート調査方法を工夫し、全数把握できるよう努める必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識	本事業目的から考えると、有効性の評価については、参加者数が多ければいいというものでもないため、参加者の満足度によるものが大きい。年度末には、参加者に事業に対するアンケートを実施しているが、全員から回答を得ることができず、正確性に欠けている。今後は、アンケート調査方法を工夫し、全数把握できるよう努める必要がある。
	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する		

平成20年度の状況		説明	参加者が、継続的に参加できるよう、保護者と話をする時間をとり不安や悩みの軽減に努めていく必要がある。そのため、交流会の充実や、マザーズスクール内で保護者同士が交流を深めることができる時間をとれるようにしていきたい。	
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している			
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している			
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了			
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している				
目標値	結果指標量	実施回数 135回	結果指標量	参加延人数 1050人
	成果指標量	90.00		

総合評価		評価区分<A-E>	B
乳幼児健診など他の母子保健事業との関連性が強く、気になる親の要フォロー教室としてなくてはならない事業である。教室内容の充実をはかり、参加者が継続的に参加できるようにしていく必要がある。保護者同士がゆっくりと不安や悩みを話することができるよう交流会の充実やマザーズスクール開催時に時間をつくってほしい。			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成20年度で真正・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	参加者に確実にアンケート調査を実施し、事業についての評価を行う。	平成20年度	事業の有効性の評価を確実にし、今後の内容検討に役立てることが期待される。